十二日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ケ月 金六十錢
□郵　税 金十五錢
□一　部　賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓増
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人 森合英

閼伽井嶽

隠すより現はる

武藏山人

燃料確保の國策線に沿うて各炭鑛擧げて晝夜兼行黒ダイヤ増産に主力を注いでゐるとき不幸にして古河炭礦今次の落磐事故を惹起するに至つたことは洵に遺憾であり、殉職した産業戰士に對しては深く弔意を表すると同時に、炭礦側にも同情の念を禁じ得ない

然し、斯る抗内事故の發生は人心に動搖を與へること甚しく單に古河炭礦のみの問題に止まらず、常磐炭礦全体に及ぼす重大問題であつて、炭礦の勞力減退が論議されてゐるとき、取返しのつかぬ慘事であつた。

巷間、増産に主力を注ぎ能率向上に急なるが爲、炭礦の施設が緩漫に過ぎるの聲も、過般國民職業指導所の一炭礦勞務員座談會」に於て「絶對的に斯る不安なし」と打消され吾人は大いに意を强うしてゐた際だけに、今回の事故は二重の意味を以つて痛恨とする

而も炭礦側は何に血迷うてか、事故發生をひた隠しにして事實の發表を回避、これが爲デマは乱れ飛び世道人心に尠なからぬ不安を抱かせるに至つたことは「坑務所長不在なるため」の辯解位では拭ひ得ない失態であつたと思ふ、

不正の介在しない以上は、凡て公明正大に事實を事實として發表し、社會的批判は勿論甘受すると同時に、これを同情に訴へる方法もあり〃隱すより現はる〃の諺言通り曲直は必ず明かにされるものであるから、今後斯る事故の再び起らぬやう切に祈ると共に隱蔽するやうな姑息な手段に戒心を望み、苦言を呈する

文藝

美とか調和とかを求める本能はどんな作家にもあるものであつて作家は本能の命ずるまゝに粗悪な材料を避けるからだ（小林秀雄）

郷土研究

（三）

岩崎敏夫

村々には、この聖代にこの明るい太陽の下に、愚にもつかない様なと思はれる事すら永い月日にわたつて平然と行はれて來たりしてゐる、我々の知りたいのはその事自體でなくて、どうして斯ういふ事が不思議とも思はずに馬鹿にもせずに、村の公の行事として家々のしきたりとして行つて今に至つたかである、事は些細な事に相違ない、併しこれによらなければ日本人の生活はわからぬとしたら、一つの單語でさへも無駄にすて去るにしのびない、考へて見れば何も土石器ばかりが前代の遺物ではない筈である。婚姻でも誕生でも葬式でも年中行事でも歌謠でも傳説でも、日常つかつてゐる言語でも現に我々の着てゐる着物でも家でも食物でも、すべて昔と連絡なしに、孤立して突如として現はれたものはなく、皆過去の遺物でないものはないし、研究の生きた對象とならぬものはない。

普通我國で行はれてゐる調査の方法は三部に分けられ、そしてまたこれが、採集に便利な様である、即ち第一部は有形文化で、一番我々の目に觸れ易いもの、例へば住居、衣服、食物、交通、勞働、家、婚姻、誕生、厄、葬式、年中行事、神祭呪法、舞踊、競技、童戯の類、第二部は主として耳より入る言語藝術であつて、例へば新語諺、謎、唱へ言、歌謠、語り物、童話、傳説の類、第三部はたゞ見たり聞いたりしただけでは知ることの出來ぬ感覺に訴へる心意現象であつて、これに村々の生活の眞の姿を見ることが出來、我々の學問の最後の目的はこの第三部に置かねばならぬ。

〃春を見た〃

（城山）　李史

夜のとばり　靜かにあけて
ほのぼのと　立上るもののけはひ
うすくらがりに霜置いた
冬菜の青き葉に　吐息をついた春を見た

霜柱くずれて　濕める黒土に
ふみにじられた　頭を
たゆまざる　努力で　持ち上げた
水仙の芽に　丸い目玉の　春を見た

敷藁を　くぐり抜けて
明い世界を　初めて見たか
辱ろふ　乙女の耳の樣な
紅いしやくやくの芽に　春雨を待つ春を見た

黒々と　つや帶びて
もう雪は來ぬと　安心した
玉椿の葉のうらに　綺麗に
ならんだ　蛾の卵に
あくびをしてゐる　春を見た

連續講談

異説赤穂浪士

（146）

桃川若燕

畫　城木喬

逆鱗のよう泉院

一依つて近々山科へ立ち歸りまする心底、今日は其の爲めお暇乞に罷り出でましたのみ亡君の仇討などとは思ひもよらぬ儀でござりますれば、從つて其の日なども決しても居りませぬ、尤も赤穂を退散の折りは仇討の決心もあり、又これに志を同じう致したものもござりましたが日に月に變心致すものばかり只今のところでは物の十人も同意致してくれる者とてなくそれに引換へて、吉良殿は上杉と云ふ大家を後楯と致し居りますれば高の知れたる瘦浪人の五人や十人如何に苦心を致せばとて仇討は愚か堀一重も乘越えるは容易なものではなく、それ故亡き殿様には恐れ入りますが生涯二君に仕へぬを以てせめてもの御詫びと致し、拙者は山科の田舎侍と云はれ朝夕を送りまする心底、何卒右樣のお尋ねは重ねて御無用に願ひます』

『コレ〱内藏之助其方は何を云やるか、女の事故一大事を明かすはならぬと堅く約束があつての事と思へども、自らも淺野内匠頭の室決して他に洩らすなどは致しませぬぞ又これにゐる女共は皆自らを勞りくれる忠義の者ばかり決して他に洩れる氣遣ひはないどうぞ仇討の當日を明し安心させてたもれ』

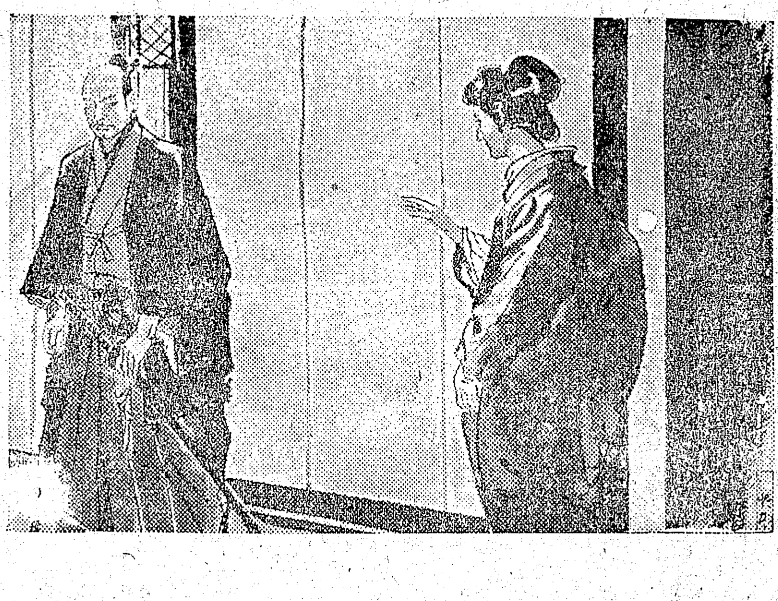
『アイヤ如何程仰せられましても覺えなき事は申し上げられませず、又殿樣も御場所柄を辨へず刄傷をなさつたはこれ御短慮と申すもの、承はればその前夜家臣が死を以てお諫め申上げたる時、たとへ如何樣の事あらうとも家の爲め家來の爲め決して短慮は致さぬと堅きお言葉があり乍ら、其の場に至つて吉良殿が如何樣な無禮を加へようとも僅か一日の事にして御刄傷をなさるとは實に笑ふに堪へた致し方、申さば此方が悪く少しも吉良殿を怨み奉る譯はござらぬ、殊に吉良殿はもう老ぼれの身故如何にして我々が苦心して近づかんとするよりも定業限りあるもの、やがては死期と相成る。よし又十余人にて仇討に罷り出で仕損んずれば世の物笑ひと相成る譯、御台樣にも何卒左樣思召し下さいますやう』

『これは又意外な事を申す、愛宕下田村邸に於て御切腹の際自らや御舍弟大學樣には何の御遺言もなく只其方にのみ呉々も頼み置くと仰せられたまだそれのみか御肉通しの短刀まで拜領致した其方ではないか、只今になつて左樣な事を申すは自らを欺くに相違ない、必ず人には語らぬ故どうぞ大事を明かしてくれよ』

『思ひの外のお尋ね、何遍申すも同じ事、恨みこそあれ殿樣の御無念を晴らすなどとは思ひもよらぬ儀でござる』

『ウム然らば何うあつても仇を討つ所存はないと申すか、コレ内藏之助只今の言葉、今一度此の位牌の前に對して申して見よ』

と冷光院殿御位牌を取り出しての詰問、



『ハ、アイヤ何度申しても同じことを繰り返すのみでござる、殿一日の御勘忍さへあらば五萬三千石のお家が殘り、家中の者も浪々致さずにすむものを……』

『内藏之助、それは本性の言葉か、ア、飛んだ目違ひを致しました、左程の不忠者とは知らず御肉通しの御短刀や御辭世の御短册までお遣はしになるまじきものを、エ、見下げ果てたる犬侍、目通り成らん立ちませえ』

と仰せられると其儘奥の一間へお入りになる、内藏之助も余儀なく退り御廊下へかゝる。送るは老女の戸田の局

『イヤ戸田殿えらい御迷惑を相掛けて濟まぬ、やがてお心の解けるときもあらう』

肉の御用命は
三二三屋
牛も豚も優良品の自慢

おでん
茶めし
平市新田町
電話三三番

國民服　高　こ軍服
高島屋の洋服
御注文並に既製品
平市二丁目通
電話三六八番

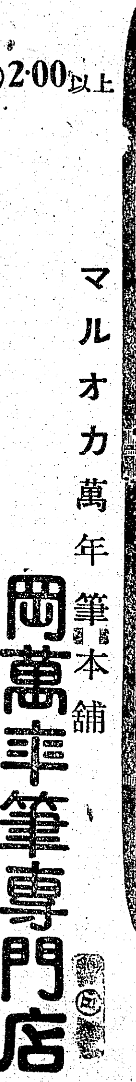
おでん
ヤキトリ
田町末廣トナリ
一柳

磁氣治療開業
マグネタイザー適應症
高血壓　胃腸病　蓄膿症　痔疾患　中風病　脚氣　泌尿　心臓病　神經痛
生殖器諸症　カリエス　呼吸器病　婦人病　小兒虚弱體　ロイマチス　ゼンソク　其他諸症治療
治療所　平市田町　シンガーミシン會社二階
平磁惠院
物理治療

國産ミシン界の王
アサヒミシン
精研舍ミシン
ニッポンミシン
迷はず迷はされず國産隨一
音も具合も調子も滿點
シンガーに優る共劣らざる機構
厚物、薄物、和服、洋服裁縫自在
販賣代理店
シンガーミシン商會
平市驛前田町

おしるこ
ぞうに
御料理
田毎
平田町
電六三二

萬年筆は專門店へ
(公)2·00以上
マルオカ萬年筆本舗
岡萬年筆專門店
平市中央通り



大小の御宴會にホール
御家族の御同伴に御座敷
いつも材料を吟味して居ります
平市四丁目
マルトモ食堂
（電話一二三番）

度量衡
モノサシ・升・秤
計量器
体温器・寒暖計
ハカリの取緒垂糸を修繕致します
吸入用酸素純度99%
關内藥局
平四丁目　電話四〇番

防空暗幕
天幕・シート
防水マント
カーテン・敷物、防水加工
販賣製作
●設計と施工●
敷島屋商店
平市六丁目六
電呼四八三番

ホシ
ミクローゼ
1家に1個常備の
胃腸・強生ピルツ剤

健康を生産する

ミクローゼは、酵母以上に生存力が强靱で、消化酵素を多量に産生する日本固有のピルツ（有効菌）と、アミノ酸・ビタミンを始め各種榮養素とを豐富に含む胃腸強生劑であります。故に、食慾を旺盛にし、正確・自然な便通をもたらし、榮養の吸收、附加を助け、逞しい健康を生産するのであります。

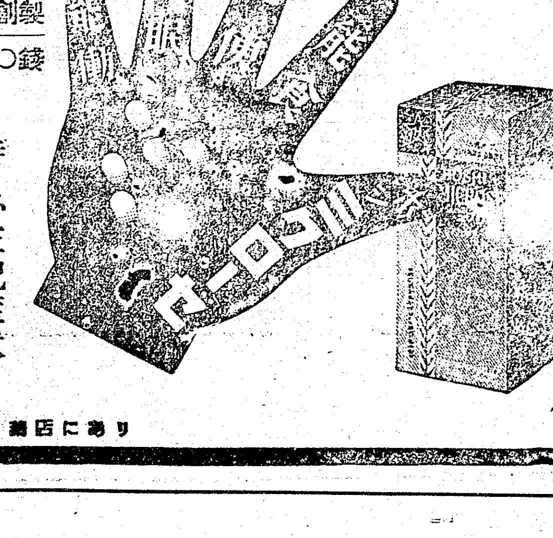
クスリはホシ

醫學博士・豐島豐次郎先生創製
一ケ月分・三六〇錠　一圓五〇錢

特に、左記症狀の方々に好適
各種胃腸疾患
食慾不振
常習便秘
結核諸症
脚氣諸症
腎臟炎
姙婦榮養補强

全國有名藥店にあり

東京・五反田
星製藥株式會社



炭坑夫に福音

石炭増産と移動防止策に

今年も"强調期間"設定

重要產業の原動力と成る石炭増産の目的で一日以來『石炭増産强調期間』を設定從業員の移動防止と増産奬勵のため賃金統制令の取締りに例外を認め『出勤、出炭』に對して特別奬勵金を交附或ひは表彰するなど勤勞に酬いる方策を執つたところ各炭礦共好成績を收め、常磐炭田の如きは二割の増産を示し、消費關係は論を俟たず關係當局を悅ばしてゐるが、三月の期間が切れ奬勵方法を解除すれば當然生產能率にも大きい影響を及ぼすこと明かな爲、關係方面で期間滿了後に處する對策を研究されてゐたが増産奬勵のため十六年度も同樣『増産期間』を設けることに内定し企劃院厚生省其の他關係方面で具体案を進めて居り炭礦地從業員の優遇案が具体化した、右について入山炭礦では喜んで語る

各炭礦共勞働力の不足に惱まされてゐる際であり、强調期間が滿了となれば必然的に移動者が增加し減產は免れないため心配してゐましたが今年も强調期間が實施することが判ると從業員の動搖も防止出來、減產も防げることでせう

前線偲び・銃後護る

慰問の"舞踊會"

藝妓屋さん恒例の催し

今次事變を迎へて五年、平藝妓屋組合では戰線を偲び、銃後の職域奉公に出動軍人の遺家族慰問『舞踊會』を計畫し百餘名の藝妓連を總動員、花柳登代藏師初め杵家十茂代、望三郎、仝左以智師等の熱心な指導を受け連日猛稽古を續けてゐたが漸やく練習を終へ市銃後奉公會、市社會事業助成會、平刑事協會等の後援を受け十六日(日曜)午後四時から市公會堂に開演することに決定準備を進めてゐる、番組は次の如く舞踊二十三、軍事劇など新作は何れも花柳師苦心の振付けである

◇番組

『松の綠』『伊勢音頭』『國民進軍歌』『勇士の純情』『お染』『寶船』『七福神『舞踊』『田植歌』『浮れ狸』『供奴』『曉に祈る』『浦島』『燃ゆる大空』『鏡山』『東亞の光』『伊達奴』『すゝき野』『蕊蛇の目』『彌次喜多狐』『鶴龜』『壺坂』『新体制節』

軍事劇『手紙と兵隊』

受付へ寄附箱

どうぞ入れて下さい

別項"舞踊會"で出征將士の遺家族を慰問する平藝妓組合ではこの機會に銃後奉公會、社會事業助成會、刑事協會等の基金を寄贈するため招待家族以外の一般入場者には大人三十錢、小人二十錢位宛の寄附を仰ぐため當日入口へ寄附箱を備へることに成つた然し舞踊會の費用は一切組合で負擔、寄附金は全部寄附する筈である

大室實行組合

產米改良策を聽く

平市大室農事實行組合では今十二日午後一時から組合長松崎長治氏宅に於て總會を開催臨席した安島縣農検平支所長から管理米の完了について及び產米改良に關しまた市農會の鈴木技手からは米の増產並に重要食農作物について講演があつた

九面漁港復舊

一万四千圓で新年度着工

石城郡南勿來町九面に於ける優秀な灣形を工費五萬圓で完成した船溜場は地元民が竣功を喜ぶ間もなく昨年九月の暴風による怒濤のため南防波堤の突端數米を破壊され其の復舊工事に關し農林省の實地調査を經てゐたが今回いよ〳〵一萬四千圓（國縣九二〇〇圓地元四九〇〇圓）の工費を以て施行に決し縣依託の同町工事として來る六月一日から着工の準備中であるが前記の災害を受けても港内の穩かなことは隣港平潟の及ぶところでなくたゞ時化の襲來時を不安とされてゐるもので卅トン級二艘の碇船に止まる狹少な港腹でも漁を續けてゐる昨十五年の漁獲高は大敷網で四萬圓章魚鯛、平目その他で六万圓計十萬圓に上り第二期工事として港底の岩盤掘鑿浚渫を行へば漁船の收容を數倍加し漁獲高もこれに伴ふ增加を見る譯で將來を有望視されてゐる

扶翼會の錬成講習

廿七日から波立薬師に開く

皇運扶翼會の本縣支部結成式は來月三日福島市に於て擧行する豫定であるがこれに先立ち二十七日から五日間双葉郡久の濱町波立薬師堂に參籠、濱通り地方扶翼會の指導者講習會を開催することに決定助川代議士その他中央からも講師が來場する筈で、受講者一同講師と共にみそぎを行つて精神訓練を行ふことに成つた

米穀検査所の

台帳検閲

明十三日から執行

石城郡籾摺業者二百餘名に對する縣検査平支所の定期取締台帳検閲は明十三日同所に於て行はれるが右検閲に當業の注意すべき事項は左の如くである

▲台帳の記載事項が事實に相違するもの、台帳の備付なきもの、台帳に何等の記載なきもの、同記載不完全なもの、二ケ年以上台帳に記載なきもの、台帳を提出せざるもの、取締規則第九條の義務を怠りたるもの、票簿の記載不完全なりしもの（以上）

三本繩複式の

俵裝奬勵

平管内で三萬俵作る

縣が時局食糧對策並に農家の利益增進のため磐城、岩代銘柄地域產米に對し三本繩複式編俵裝を奬勵されてゐることは既報の如く右に關して來る十七日午前十時から平市石城郡販利組合樓上に左記主產地農會長、產業組合、受検組合長を集め農検平支所管内に於て三万余俵を見込む町村割當てを必行することの協議をなす筈だが農検支所並に出張所別を上ぐれば次の如くである

▲平支所管内で一六二九九俵（渡邊三八〇〇、玉川六四二一、鹿島一八九二、磐崎一九三三、草野二二五三）四倉出張所六六九二（大野二一四七、大浦四五四五）勿來出張所七三二〇（山田一三三〇、錦一二二七、勿來四〇〇〇、川部七六三）

公立中等校巡り（十一）

運動部の殊動は

近年の野球部

平商業の巻

5

運動部史

本校の運動部は野球、庭球、競技、卓球、籠球、弓道、射撃、角力、柔道、劍道等あり庭球部がかつて縣下に覇をとなへた歷史もあるが、現在は野球部が一番活躍してゐる。即ち一昨年は縣下の大會に優勝し、一昨年と昨年は選拔野球に優勝してゐる。宮澤勝三先生が部長さんである。昨年の野球部の選手諸君の名を掲げて敬意を表しておかう、

投手	小野忠雄
捕手	田山弘平
一壘	國府田義之
二〃	宗像好正
三〃	根本進步
遊擊	大塚勇
中堅	根本健三
左翼	佐々木大三郎
右翼	大塚五郎

◎入學志願者のために

本校昨年の志願者は三百十七名、この中から百六十二名が入學を許可されてゐる。約二人に一人といふ競爭率である、この中入學者の學歷を見ると、尋六百二十、高一三十四、高二八となつてゐる。之で見ると高等科出身の入學者が相當に多いことがわかろう。試みに磐中昨年度の入學者三百五十名中高一修了三十人、高二修了三名と比較して見ると此點が明瞭にわかる。入學を許可されると、授業料は市内三圓七十錢、市外四圓五十錢、その他商友會費二十錢、校友會費五十錢、父兄會費二十錢、旅行貯金五拾錢、校友會入會金二圓合計市内七圓拾錢、市外七圓九拾錢が學校に四月中に納付せねばならんお金であり、その他徽章拾錢、筋一錢は少額だが本代ノート等は全部新らしいとすれば二拾圓は下らぬであらう。背嚢の新品はズックで五、六圓、それに入學すると柔劍道の道具が入る。是も新らしく買ふと柔道着九圓、劍道廿五圓位を要する。是は目に見えるお金だ、帽子や洋服や靴やとなると百圓以上はどうしても要るわけだ。次に服部校長先生の入學志願者に對する希望を掲げて本文を結ぶことにしよう。

まづ父兄の方は一旦本校に生徒をあづけた以上は學校そのものを充分信頼して學校と協力して自分の子供を教育してゆくといふ態度をとつてほしい。

本校に入學を希望するものは商業學校に來ることを以て誇りとし、自分は將來商業報國の精神で大いに國家につくすのだといふ氣持で來てほしい。(完)

平市今年度

種痘日割

平市の本年度種痘は既報の如く昨十一日から施行されたが日割及區域左の如し

◇小學校

△第一校、自十一日至十八日△第二校、自十二日至十九日△第三校、自十一日至十八日△第四校、自十一日至十八日

◇市内全般

△十一日――二十二日清水醫院（北白銀、仲間町、南白銀、鐵道官舍）松村醫院（大町十五丁目、四丁目、新川町、弓見町、堤の内）渡邊醫院（長橋町、研町、紺屋町、久保町、八幡小路）

△十七日――廿四日村上醫院（二、三丁目、材木町、鍛冶町、南町、三丁目）市原醫院（田町、胡摩澤、揺槌小路、舊城趾、北目）近藤醫院（五丁目、鎌田、立町、大工町）中塩分教場（中鹽、四ツ沟、幕の内、大室、鯨岡）

△十八日――廿五日第四小學校（上平窪、中平窪、下平窪）

感心な"兵隊兄さん"

怪賊逮捕慰問

高子巡査に見舞金贈る

滿洲事變から今事變へかけて數回に亘つて前線を慰問し"兵隊兄さん"で通る人氣者の福島市熊田三郎さん(四四)は最近第一線慰問から歸つて以來『銃後の治安維持に第一線にあつて日夜活動してゐる警察官慰問』を計畫、各署の慰問行脚してゐる矢先、平署員が湯本町で苦心の末怪賊を逮捕したことを聞き、今十二日出先きから平署へ駈けつけ司法部及署員一同を慰問

參考に成るやうにと兄さん御自慢の繩拔けの秘傳を公開したが更に當時賊と格鬪の末重傷した高子巡査を入山病院に訪ね見舞金を贈る熱心さに署員一同感謝してゐる

增學級に溢るゝ熱意

寄附超過二千圓を割戻す

縣立磐中、磐女の增學級に伴ふ平市へ割當てられた一般寄附金は市民の理解に依つて豫定の一萬五千圓を遙に超過し、一萬七千四十圓の多額に達した爲、市當局は個人の寄附者に對し過剩の二千四十圓を割戻すことになり返還率を調査してゐる

集めた寄附金が豫定額を超過して割戻すやうなことは未だ例を見ず、この熱意ぶりには市當局も驚いてゐる

乳製品配給の

機構變更

乳幼兒の家庭は注意

育兒用の乳製品購入方法が過般縣の打合せ會で多少變更され

1 滿一才以下の母乳なき乳兒、又は母乳不足の世帶主へ

2、同樣滿五才以下一才までの幼兒は平保健所長、姙產婦、病弱者は醫師の證明に依り交付

3、右の手續きを終へ區内會長の認印を受け市へ提出交附を受け購入の際は區内會長、隣組長の印を必要とする

尙平市内の乳製品配給所は次の如く決定した

△古鍛冶町、白上正藏△一丁目、薗部國安△四丁目、關内榮助△五丁目、山野邊東次郎△下平窪字八木内、渡邊賢司

烈風被害

電話不通市内四十五戸

十一日夜來から今十二日朝へかけて吹き卷つた烈風は秒速十米九に達し、暴風警報が發せられてゐた爲漁船は全部避難し幸ひ難船はなかつたが平市を中心とする電話線の事故四十五件に上り近來にない烈風であつた

【電話不通の爲天氣豫報休載】

豐間漁港

流砂のため使用不能

浚渫方陳情

豐間町船溜りは時化毎に運砂甚だしく現在滿潮時以外は入船不能の狀態にあり已を得ず豐間の自船は江名港に繫船される有樣なので工費約一万三四千圓で本年中に浚渫したいと縣に陳情してゐるが、一面東防波堤の延長も必要に迫られ居り改修方も縣に數次に渉つて具陳してゐる

奬勵金寄附

納税組合解散の印

江名町永崎第五納税組合長作山庄司氏は隣組編成で一旦納税組合の解散を期に昭和二年以來組合長として町より支給された奬勵金を貯蓄してゐたが解散に當つて今回恤兵部へ三十圓、町銃後奉公會へ十圓を献金した

海上防空講習

江名で船止して參加

江名町海上防空講習會は十二日午前九時から五時迄江樂館に開催するが講師としては横鎮、縣警防課より來江する筈で江名町では全漁船の船止めを斷行し受講者は一千五百名の多數に上る

少年の眞心

共同で慰問袋贈る

平第一小學校三年の四組生山崎次男、小室晴彦、早坂哲郎大森衛、栗田昌一の五君は共同で慰問袋を作り十一日平市役所へ寄託した

烈風中山火事

林野四町步燒失鎭火

十一日午後六時半頃石城郡好間村大字上好間字大畑地内、上好間上下組合所有の松林から發火、折柄の强風で同林野四町步燒失九時二十分頃鎭火した、損害原因取調べ中

街の話題

【投稿歡迎】

◎空俵で水漕購入【田町】

平市田町第六班二一、二二二三、二四の隣り組は各戸木炭の空俵を出し合つて賣却し、この金を貯蓄して防火用の水漕を購入組内の要所に常設することになりました。この俵は赤井村の佐藤材木店と特別契約して一俵三錢五厘に買つて貰ふ約束がなり毎月一日トブさらへのとき持寄ることを申合せ、第一回目は十日集めました

◎お米の押し賣り

市内の場末の方でお米の押し賣りをしてゐると云ふ、お米不足で節米運動の盛んな際嘘のやうな話が流れて來ました。傳へられるところに依ると『與へられた通帳のお米を、配給數量買はないと違反だ……と組長さんが各戸を廻つて通帳を調べ、十日二斗配給される家が節米や混食などして一斗五升位より買つてゐない家へ不足分のお米を五升强制的に買はせる、この爲お米の余つた家が困つて、最もその日暮しの人々だと思ひますが、お米を買つて下さいと步くのだとか、常識的に考へられぬことですどなたかお判りの方がありましたら眞相をお知らせ願ひます

◎回春院長快方に向ふ

豐間村の縣立回春院長安田博士は、小名濱、豐間、江名地方民から神の如く尊敬されてゐますが、急性腹膜炎を病み一時重態を傳へられ、各方面の往診も絕えましたので地方民も尠なからず憂慮してゐましたが經過良好で四、五日中に全快する模樣です。

四倉驛長更迭

列車事故の責任か

四倉驛長加藤金作氏は先般同驛構内の追突事件の公判決定を前に突如北仙台驛長に更迭することゝ成つた

後任は涌谷驛長佐藤琢治氏と決定加藤氏の出發は十四五日頃の豫定である

病氣を苦に

無斷家出

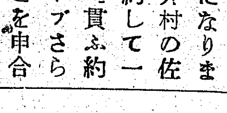
自殺を心配搜査中

大津村大字長友字鎌井農古市宗平(四七)は昨年十二月頃より病氣で療養中のところ七日無斷家出、自殺のおそれあるため家人は宗平の行衛搜査をしてゐる

警防幹部大會

四倉管内は廿一日

四倉警察署管内二町四ケ村の警防團幹部大會は二十一日四倉座に開催するが當日午前八時各幹部は四倉小學校庭に集合し規律訓線を執行する



商況（十日）

【野菜】	高値	安値
葱	一八	二〇
油菜	六	八
ホウレン草	四五	
大根(丸)	一〇	

【鮮魚】	（錢單位）
アンコ百匁	〇、七〇〇
ドンコ	〇、二〇〇
ナメタ	一、二二〇
タラ	〇、八〇〇
ノドグロ	一、六〇〇
うで蛸	二、二八

二
一
白
三
四
五
六
七
八
九
北

舊二月十六日　木曜　新三月十三日

庚申　大安　執　奎宿

▲一白　精力の有らん限りを盡して働けば大吉とす

▲二黑　不運に遭遇すれ共萬事手堅くせば開運せん

▲三碧　慣れぬ事に誘はれて失敗の臍を噬む不吉日

▲四綠　自分の力を賴みとして活躍すべし金談は凶

▲五黃　投機心を去り一意定業を勵むときは過なし

▲六白　勝氣に任せ事を謀れば意外の惡變を生ぜん

▲七赤　敵の重圍に陷りたる如し目上の援助を誤れ

▲八白　元氣を抑壓して妄りに動かぬが安全病注意

▲九紫　順當の事は成就すべし大望は抱かぬが安全

電話番號變更

新番號は『370番』

合名會社
平四倉 乘合自動車
電話三七〇番

待望の國技大相撲愈々上映

昭和十六年春場所記錄
第一部激闘前半戰上映

大鐵傘下、男と男の肉彈相搏つ土俵の激戰は！兩國國技館春場所は、一月十日その豪華絢爛の幕を切つて落しました。聖戰下五年の春を迎へて、國技の眞髓は愈々發揮され、眞摯敢闘する力士達の活躍は、連日大鐵傘を搖がす熱戰の連續となつて日本全國を熱狂の坩堝と化してをります。「國技大相撲」は豪華雄渾の土俵入りその他初日の諸儀式に始まり十五日間連日の好取組を日を逐うてもらさずカメラに收め、華麗弓取式その他千秋樂の諸儀式を以て終る長篇相撲映畫で『激鬪前半戰』『敢鬪後半戰』の二部に分けて第一部から公開されるものです。從來は「大相撲日報」として毎日前日分だけ公開されてゐましたが、今場所からは諸方面の意見を斟酌して上述の通りに改められたもので『大相撲日報』の短所を改良した相撲映畫の完璧篇であります。

……映畫ファン相撲ファン見逃す勿れ……

東寶映画日本全國獨占配給

姉妹の約束

年頃の娘さん達はふくらんだ胸に希望と未知への冒險を包み、何を考へ何を夢見る？娘さんを持つた世のお母さんに、この映畫を捧げます。新しい時代の娘心を代表する三大スターのコンクール

原　節子……躍動する美しさ
花井蘭子……清楚な美しさ
若原春江……純情な美しさ

ダークコンゴ

世界的探檢家デニス夫妻製作、暗黑秘境の歡喜生活の曝露篇
廿世紀フオックス超大作

【十三日より封切】

平東寶映画劇場
聚樂館
電話四七〇番

◈ 生徒募集 ◈

一、募集人員

1、本科　一年（二ケ年卒業）八十名
2、裁縫專修科　一年（二ケ年卒業）八十名
3、師範科（一ケ年卒業）二十名
4、專攻科（一ケ年卒業）二十名
5、『附設』洋裁科（六ケ月修了）二十名

二、入學手續

右各科入學希望者ハ本校規定在學證書ニ適宜記入捺印ノ上三月三十日マデニ平市藤田女學校宛ニ提出ナサイ、但シ定員ニ充チタル場合ハ期日前ト雖締切ルコトアルカモ知レマセン

三、其の他

◎詳細ハ本校宛學則請求ナサイ（返信料三錢封入ノコト）

昭和十六年二月
福島縣平市田町
文部大臣認可
藤田女學校
電話三二八番